

『R4年度の確定申告状況等 e-Tax本人申告は着実増加』

国税庁はこのほど、令和4年分の確定申告状況等についてまとめ発表した。概要は以下の通り。

○申告人員は2,295万人(対前年比(以下同)+0.4%)。そのうち申告納税額がある方は653万人(▲0.5%)、その所得金額は46兆3,072億円(同0.1%)、申告納税額は3兆6,801億円(▲2.9%)。

○土地等の譲渡所得の申告人員は55万2千人(▲0.7%)。そのうち所得金額がある方は37万2千人(+1.8%)、その所得金額は5兆4,392億円(+12.1%)○株式等の譲渡所得の申告人員は108万3千人(▲3.3%)。そのうち所得金額がある方は48万9千人(▲21.3%)、所得金額は4兆630億円(▲11.0%)。また、個人事業者の消費税に関して○申告件数は105万5千件(▲7.1%)で、申告納税額は6,277億円(▲0.6%)。贈与税の申告人員は49万7千人(▲6.5%)。そのうち申告納税額がある方は37万9千人(▲2.5%)、その申告納税額は3,200億円(▲3.8%)。e-Taxで申告した方は、所得税等で1,075万7千人(+16.6%)。そのうち、納税者本人がe-Taxで申告書提出した方は591万9千人(+33.8%)に上った。



『人口動態統計の出生率 80万人台割り込み過去最少』

厚生労働省はこのほど、2022年の人口動態統計(概数)を取りまとめ、公表した。出生数は7年連続で減少。過去最少だった21年を4万875人下回る77万747人となり、初めて80万人台を割り込んだ。合計特殊出生率は過去最低の1.26で前年の1.30より0.4ポイント低下。都道府県別で最も高かったのは沖縄県で1.70。次いで宮崎県1.63、鳥取県1.60、長崎県・島根県1.57の順。一方、最低は東京都の1.04。宮城県1.09、北海道1.12、埼玉県・神奈川県1.17と続く結果となった。

死亡数は156万8961人で前年から12万9105人増加。人口の自然減は、前年より79万8214人減り、16年連続での減少となった。死因の最多はがん(悪性新生物)の38万5787人(24.6%)。次いで、心疾患(高血圧性を除く)23万2879人(14.8%)、老衰17万9524人(11.4%)、脳血管疾患10万7473人(6.8%)の順。婚姻件数は50万4878組で前年より3740組増加。平均初婚年齢は夫31.1歳(前年比プラス0.1歳)、妻29.7歳(前年比プラス0.2歳)と男女ともに上昇した。一方、離婚件数は17万9096組で、前年から5288組減少している。



出典元:日本中小企業経営支援専門家協会(JPBM) ※本記事・内容の無断転載を禁じます

21世紀を創造する中小企業のベストパートナー

〒460-0012 名古屋市中区千代田三丁目14番22号

葵総合経営センター

(葵総合税理士法人)

TEL : (052) 331-1768 FAX : (052) 332-5282

『Homepage』 <http://www.aoi-cms.com/> 『e-mail』 aoi@aoi-cms.com